

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
27年 6月 25日	
都道府県知事 広瀬 勝 貞 殿	
提出者 住 所 福岡市中央区那の津5丁目3番1 J A北九州ファーム株式会社 氏 名 代表取締役 稗田 直輝 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 092-738-2002	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	JA北九州ファーム(株) 直入農場 (旧称(株)北九州ジェイエイ畜産 大分SPF種豚農場)
事業場の所在地	大分県竹田市直入町長湯8572-21
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 4,500頭
③従業員数	11人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿 : 自己堆肥化、発酵床へのリサイクル活用 家畜の死体 : 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項															
<p>(管理体制図)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">統括責任者</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">○ 社長</td> <td style="width: 10%; font-size: 2em;">}</td> <td style="width: 55%;"> 廃棄物処理方法決定 廃棄物処理に関する責任 </td> </tr> <tr> <td>管理者</td> <td style="text-align: center;">○ 本社・管理部長</td> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td> 運搬・処理業者との契約 マニフェストの保管・管理 行政への報告 </td> </tr> <tr> <td>推進者</td> <td style="text-align: center;">○ 農場長</td> <td style="font-size: 2em;">}</td> <td> 廃棄物排出実務責任者 マニフェストの交付・管理 </td> </tr> </table>				統括責任者	○ 社長	}	廃棄物処理方法決定 廃棄物処理に関する責任	管理者	○ 本社・管理部長	}	運搬・処理業者との契約 マニフェストの保管・管理 行政への報告	推進者	○ 農場長	}	廃棄物排出実務責任者 マニフェストの交付・管理
統括責任者	○ 社長	}	廃棄物処理方法決定 廃棄物処理に関する責任												
管理者	○ 本社・管理部長	}	運搬・処理業者との契約 マニフェストの保管・管理 行政への報告												
推進者	○ 農場長	}	廃棄物排出実務責任者 マニフェストの交付・管理												
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項															
①現状	【前年度（ 26年度）実績】														
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体												
	排 出 量	6, 6 0 0 t	1 2 . 7 9 t												
	(これまでに実施した取組) 家畜ふん尿 : 自己堆肥化 家畜の死体 : 処理業者への委託														
②計画	【目標】														
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	家畜の死体												
	排 出 量	6, 6 0 0 t	1 2 . 7 9 t												
	(今後実施する予定の取組) 家畜ふん尿 : 自己堆肥化を継続する。 家畜の死体 : 処理業者への委託を継続する。														
産業廃棄物の分別に関する事項															
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)														
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)														

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	6,600 t	t
	(これまでに実施した取組) 自己堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	6,600 t	t
	(今後実施する予定の取組) 自己堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 26年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	12.79t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 処理業者への委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全処理委託量	12.79 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	12.79 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。			
※事務処理欄			